

全国国立大学附属学校PTA連合会 平成29年度団体表彰エントリーシート

所属学校名	広島大学附属幼稚園		
PTA名称	広島大学附属幼稚園 木いちごの会	会長名	西尾 英衣子
応募部門	(1) 事業部門		
事例名称	森とともに ～ つながりを広げる子を育む ～		

本園は昨年2月にユネスコスクールに登録され、ESDの観点に基づいて保育を行っている。しかし私達保護者にとって、ESDの“持続可能な開発のための教育”という内容は具体的にわかりにくく、“ESDって何？”という声が多く上がった。そこで、本園の教育方針を保護者も理解し、共有したいと考え、ESDの理解を深める活動を行ってきた。

①講演会（木いちごの会主催）

講師に元小学校長先生を招聘し、講演会を開催しESDが園生活や私達の生活にどのように繋がっているのかをお話していただいた。また園長先生にもESDを視点にした本園の保育について説明していただいた。講演会后、参加した保護者からは、“ESDの理解が深まった”“ESDが身近に感じられた”という声が多く聞かれた。また、身近な環境を大切にすることもESDにつながるということも学んだ。



②イベント“親子で森とかかわろう”（幼稚園との共催）

“森のようちえん”と言われる本園だからこそできる活動はないかと、先生方や父親の会とも相談し、合同イベント“親子で森にかかわろう”を開催した。山に落ちている栗やイガ、木の枝等にポイントを付け、集めたポイントは保護者が作った豚汁とマッシュマロに交換したり、拾った木の実等は焚火の燃料としてストックした。お世話になっている森を親子できれいにすることで、よりおいしく豚汁を食べたり、子どもたちも遊びを広げながら楽しく充実したクリーン活動となった。



保護者のESDについてアンケートを取ったところ、ESDについての理解度が、30%もアップしたことは、このような啓発活動の実施による大きな成果と言える。



また、活動に参加したことを機会に、自分の子育てを見直しよりよい子育てにつながるような意識改革ができたという意見も見られた。園の教育をもっと理解したいと始めた活動だが、ESDの理解度のみならず、子育てに対する意識もよい方向に変化した。今後もさらに自主的な活動を継続、創造し、園と方向性を合わせ園と共に子どもの育ちを支えていきたいと思う。

